



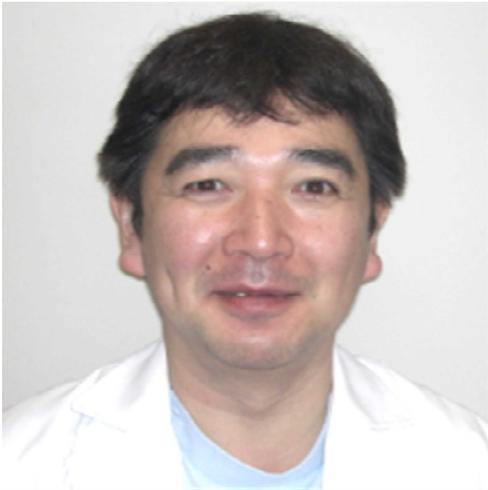
連携いあい

令和3年6月

第31号

岩手県立磐井病院

「副院長 あいさつ」



令和3年4月より県立磐井病院の副
 副院長職を拝命いたしました。私が
 当院に赴任したのは2006年8月と
 磐井病院が新病院に引っ越した年で
 した。当時はまだ診療科名を神経内
 科と標榜しており1人科で、入院患
 者はほぼ脳梗塞の患者でした。現在
 は科名を脳神経内科と改名し、医師
 数も3人に増員となっております。
 入院患者も医師数が増えたおかげで
 十分は検査ができる体勢となり、筋
 疾患、末梢神経疾患、変性疾患と多
 種多様な疾患を診療しております。

数がものを言う世界はあまり世間
 的には好まれないのですが、今回医
 師数が3人に増えたおかげで科内に
 余裕ができ、やっと他の病院に診療

応援ができるようになり、脳神経内科として地域
 医療に貢献できるようになりました。また、地域
 住民、医療関係者に向けての勉強会などもお手伝
 いができるようになりました。数の余裕の重要性
 をただただ実感するばかりです。

当院は地域支援病院としていろいろな形で地域
 連携を推進してきました。私は専門である認知症
 という疾患を通して地域の医療機関、関係機関と
 関わることが多かったかもしれません。認知症患者
 の治療目的はいかに認知症患者の生活を守り、
 自立した生活ができる環境を維持していくかだと思
 います。そのためには認知症患者と患者家族のサ
 ポートを、医療、介護、地域にて行っていくこと
 が重要です。認知症には治療が必要な症状と、
 サポートが必要な症状があり、自立した生活を維
 持させるためには後者が重要になってきます。認
 知症患者が良いサポートを受けるためにはサポー
 トを提供する側が正しい認知症の知識を持つこと
 が必要です。そのために、脳神経内科医として地
 域や関連機関と共に活動させて頂く所存です。

地域で完結する医療という理念の実践のため、
 今後も連携施設や連携医療機関の医師、スタッフ
 の皆様にご迷惑をお掛けするかもしれませんが、
 当方も頑張っていきますので今後とも御支援をよ
 るしくお願いします。

**副院長兼第1脳神経内科長兼地域医療科長兼
 地域医療福祉連携室長 川守田 厚**

<岩手県立磐井病院 理念>
 地域の皆様に納得のできる医療を提供します

- <岩手県立磐井病院 行動指針>
- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
 - ② 患者さんの個人情報を守ります。
 - ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
 - ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

Contents

- 副院長挨拶・・・1
- がんによる症状の対応・・・2
- 2021年度新任医師・研修医の紹介・・・3、4
- 外来紹介 整形外科・・・4

がんによる症状の対応

緩和ケア認定看護師 小笠原章子

1981年以降、死亡原因の1位はがんになっています。現在では、男女とも2人に1人ががんと診断され、3人に1人はがんで亡くなっています。がんになると、「痛み」「吐き気」「食欲不振」「息苦しさ」などの症状が起こります。これらの症状は、がんそのものによって起こる場合、がんの治療によって起こる場合など、様々な原因で起こります。症状による苦痛は、患者さんの生活の質を低下させる大きな原因となるので、症状を緩和することで、つらさを和らげ、生活しやすくする必要があります。

今回はそれらの症状の中から「吐き気」「食欲不振」「息苦しさ」の対応についてお伝えします。



「吐き気」

吐き気を抑える薬で予防したり、軽くしたりすることができます。その場合、原因や症状に合わせた薬が選ばれます。生活上の対応としては、においがこもらないように換気する、口内を清潔に保つ、なるべく消化の良いものを食べる、少量ずつ数回に分けて食べる、自分にあった味付けや温度をみつける、ゆったりとした服装を心がけるなど、工夫をすることで症状が和らげられることがあります。



また、便秘が吐き気に影響していることもあるため、便秘気味の時や便秘が続く時は、医師に相談し下剤で対処するとよいでしょう。



「食欲不振」

治療が原因の場合には、症状が出る時期を予測して、食事や生活の工夫をしていきます。栄養や量、規則正しさにこだわらず、食べられそうな時に、食べたいものを口にするとよいでしょう。また、食べ物の工夫として、冷たいもの、のど越しの良いもの、やわらかいものが比較的好まれます。少量でも栄養価の高い、栄養ゼリーなどの栄養補助食品を試してみるのもよいでしょう。さらに、少量を彩りよく盛り付けると、見た目にも食べやすく感じる場合があります。周りの方の「何とか食べてほしい」という期待や言葉は、本人にとって負担になることもありますので、食べられるものを一緒に探していくとよいでしょう。



「息苦しさ」

原因によって酸素吸入、薬による治療などが行われます。生活上の工夫として、窓を開け換気をする、室温を低めにする、扇風機を回して顔に風が当たると心地よいと感じることがあります。

姿勢は、背もたれや枕・マットレスを利用して上半身を起こし、楽な姿勢をとります。食事は、呼吸が落ち着いている時にとり、食べやすいものにするとよいでしょう。



つらい症状を緩和するために、生活でも工夫してみましよう。

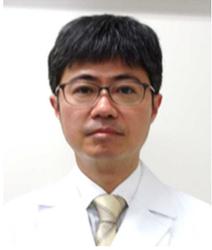
2021 年度新任医師・研修医の紹介

今年度から新たに当院の一員として加わった新任医師・研修医の紹介です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師



- ① 役職名
- ② 出身大学 (教室)
- ③ 所属学会
- ④ 専門分野
- ⑤ ひとこと



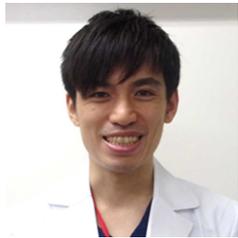
中西 渉

- ① 第2外科長
- ② 東北大学
- ③ 日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
日本肝胆膵外科学会高度機能専門医
日本移植学会認定医
日本肝膵学会専門医
- ④ 消化器外科
- ⑤ 一日も早くお役に立てるよう努めます。



三橋 伸行

- ① 形成外科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 形成外科学会
日本手外科学会
日本マイクロサージャリー学会
- ④ 形成外科専門医
- ⑤ 地域の医療に貢献できるよう尽力します。よろしくお願いいたします。



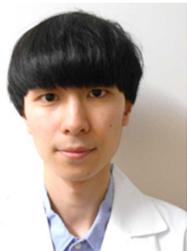
郷右近 祐介

- ① 外科医長
- ② 東北大学
- ③ 日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
日本食道学会認定医
日本腹部救急医学会認定医
がん治療認定医
- ④ 外科
- ⑤ 地域医療に貢献して参ります。



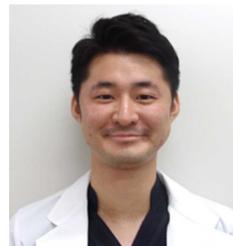
井藤 綾人

- ① 泌尿器科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 日本泌尿器科学会
日本泌尿器科内視鏡学会
日本臨床腎移植学会
日本移植学会
医学博士
- ④ 泌尿器腫瘍・腎移植
- ⑤ 令和3年4月から赴任しました井藤綾人と申します。地域の医療に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



石垣 賢人

- ① 耳鼻咽喉科医師
- ② 岩手医科大学
- ③ 日本耳鼻咽喉科学会
- ④ 耳鼻咽喉科 (一般)
- ⑤ 分かりやすい説明と丁寧な診察を心がけています。地域医療に貢献できるよう頑張ります。



平野 大輔

- ① 歯科口腔外科医長
- ② 岩手医科大学歯学部
- ③ 日本口腔外科学会
日本口腔腫瘍学会
日本口腔科学会
日本口腔診断学会
日本歯科麻酔学会
歯学博士
- ④ 口腔外科 (一般)
- ⑤ 地域の口腔外科疾患でお悩みの患者様の為、尽力致しますので宜しくお願いします。



河合 泰成

- ① 脳神経内科医長
- ② 日本大学
- ③ 日本内科学会
日本神経内科学会
日本脳卒中学会
- ④ 神経内科 (全般)
- ⑤ 岩手県の地域医療に貢献できるよう努めます。



片山 大輝

- ① 産婦人科医師
- ② 東北大学
- ⑤ 思い出に残る出産のお手伝いをさせていただきます。



山口 正明

- ① 病理診断科長
- ② 東北大学医学部
- ③ 日本病理学会病理専門医
日本臨床細胞学会細胞指導医
- ④ 病理
- ⑤ 今年度から磐井病院に勤務になりました。よろしくお願いいたします。

研修医

今年度は計4名の研修医が加わりました。
2年間よろしくお願ひします。

- ①出身大学
- ②ひとこと



山野 真裕

- ① 岩手医科大学
- ② 色々な資格をとって患者さんや病院に還元します。



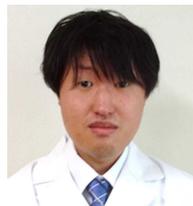
大木 佑亮

- ① 岩手医科大学
- ② 今年度から初期研修医として勤務する大木です。地域と連動し、患者さんにやさしく完全な医療を提供できるように努めますのでよろしくお願ひします。



皆川 雅博

- ① 岩手医科大学
- ② 岩手県の医療を担う人材になれる様、毎日勉学に励みたいと思います。初心を忘れず頑張ります。



千葉 周平

- ① 山形大学
- ② 岩手の医療に貢献できるようにがんばります。

外来紹介～整形外科～



第1 整形外科長 中村 聡

整形外科では、いわゆる「運動器」の疾患・外傷を扱っています。首から下、足の先までの骨、関節、筋肉、神経などが対象になります。

現在の常勤医師は4名で、月・火・水・木の午前に外来診療を行っています。完全予約制ですが、予約されていても急患対応や緊急手術などでお待たせすることがあります。金曜日を主な手術日としていますが、平日は毎日手術を行っているのが現状です。

交通事故、労災事故、転倒による外傷など、手術が必要になりそうな患者さんは基本的に全て受け入れており、良好な機能回復を目指して手術を行っています。手術は年間約600件行っております。手術後リハビリについては、地域のリハビリ入院ができる複数の医療機関と連携し、より高いレベルまで回復できるように取り組んでいます。2020年4月に私が着任し、専門とする脊椎疾患（頸部脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア等）の手術治療を開始しました。2椎間までの頸椎、腰椎疾患に対しては脊椎内視鏡による低侵襲手術を行っています。股関節手術（人工股関節置換、人工骨頭挿入）は術後脱臼のリスクが少ない仰臥位前方アプローチで行っています。2020年12月に、腰椎、大腿骨DEXAによる骨密度測定装置を新規導入しました。骨粗鬆症の診断、治療、骨折後の2次骨折予防のための治療強化などにも力を入れて取り組んでいます。

入院病床に限られるため、日常生活が不自由な状態での通院治療や、早期退院をお願いせざるを得ない場合があります。諸事情をご賢察の上、ご理解とご協力をお願い致します。

<手術実績 517件（令和元年度）>

骨折観血的手術	274件	人工骨頭置換術	43件
人工関節置換術（股、膝）	44件	ほか	157件



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax(0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>